

子どもの意見反映・参画支援を どのように法制化するか 子どもアドボカシー2.0に向けて

鼎談趣旨

子どもアドボカシーの日本への導入期を「子どもアドボカシー1.0」とすれば、本格的なアドボカシーへの発展期である「子どもアドボカシー2.0」の時期を迎えています。「広く」（すべての子どものアドボカシーの実現）、「深く」（人生を左右する重大な決定への意見反映支援）、「強く」（意見反映支援が可能な力強い専門性と組織の確立）が「アドボカシー2.0」の目標です。これらの実現に向けて、本学会理事会は「児童福祉法の『意見表明等支援事業』の改正に関する要望書」をこども家庭庁長官に、また「児童福祉法の『意見表明等支援事業』の改正及び民主主義の担い手育成に関する提案書」を、NPO法人DAKKOと連名でこども政策担当大臣に提出しました。提案書は、①「意見表明等支援事業」の再定義に向けた児童福祉法の改正、②障害児施設の「児童の意見聴取等の仕組みの整備」対象化、③こども・若者の意見反映と社会参画（民主主義の担い手育成）の重要施策化の3つで構成されています。本鼎談では提案書のとりまとめを担った3名が「子どもアドボカシー2.0」に向けての課題と展望を話し合います。私たちは、狭義の「意見表明支援」や「意見反映支援」に留まらない、ラディカルな（根源的な）独立子どもアドボカシーの実現をめざします。

講師



堀 正嗣

子どもアドボカシー学会
会長
熊本学園大学教授



横張寿希

NPO法人 DAKKO
代表理事
社会福祉法人
敬愛福祉会理事長
株式会社ペタゴ
代表取締役



定者吉人

一般社団法人
子どもアドボカシー
センター広島 代表理事
弁護士

2026 6.20 Sat. 13:30~15:00

会場

フェニーチェ堺 中2階 多目的室

〒590-0061 大阪府堺市堺区翁橋町2丁1-1 HP <https://www.fenice-sacay.jp/>

非会員は、Zoom・会場共に事前申し込みが必要です。

会員は、会場参加を希望される場合のみ事前申し込みをお願いします。

申込方法

会員は無料・非会員は参加費2,000円です。

Peatixから、QRコードもしくは下記のアドレスから申し込みをしてください。

<https://peatix.com/event/4941219/>



定員

100名（会場）・300名（ZOOM）

会場が定員に達した場合、事前申込をされていない方は、入場できないことがありますのでご了承ください。

連絡先

子どもアドボカシー学会

〒590-0079 大阪府堺市堺区新町2番4号 小山電ビル2階（NPO 法人子どもアドボカシーセンター-OSAKA 事務所内）

Eメール：adv.gakkai@gmail.com HP <https://jascas.net/>